

Book

『幸福な田舎の
つくりかた』

金丸弘美著
学芸出版社刊
1890円(税込)

人が来なくなつた観光地や商店街、高齢化に悩む農村、林業が衰退した山間地……。本書は、そんな危機に瀕した地域社会が、地場産業で起死回生する姿を追つたルポルターージュである。

今、社会の価値観は大きく変わろうとしている。ここでは徹底的な地域密着型へと舵を切つた人々の取り組みを紹介。全国展開や画一的な企画を排除し、地元の人のための品揃えにすることで、地域に愛される場が生まれ、その流れが逆に都市部の人を引き寄せるのだという。

従来型の大量生産と流通システムに一石を投じつつ、肩の凝る話はない。表紙のおばちゃんのおっけらんとした笑顔が本書のテーマを物語っている。(キ)

『名画と読む
イエス・キリストの物語』

中野京子著
大和書房刊
1680円(税込)

本書は、著者が端的に述べているように、宗教の本ではなく、西洋絵画鑑賞の手引きとして、その大きな題材となつていくキリスト教(文化)を理解するための本である。したがって、ここで展開されるイエスの物語も、ドラマチックな誕生から、神の子としての目覚め、使徒らに従えたローマ帝国臣制下での伝導の旅、そして聖地エルサレムでの処刑から復活と、あくまで絵画に描かれた一生である。初心者向けに、当時の社会状況や地理などを的確に押さえてわかりやすいばかりでなく、情景が目に浮かぶような語りは読者をひきこみ、歴史物語としても楽しめる。絵画に限らず、映画などその他の文化の鑑賞にも役立つ一家に一冊必携の書。(広)

『気仙川』

けせんがわ
富山直哉著
河出書房新書刊
3360円(税込)

あの日 から二年が経つ。大きなものを失つたまま、私たちは前へ進んでいる。二〇一一年三月、写真家の著者は、母と姉の住む故郷、陸前高田市へオートバイで向かった。わかつているのは行き先と目的(安否確認)だけ。その過程で何が起りどれだけ時間がかかりどんな現実が待っているのか、すべてが不確かな旅。数日間のゆるい気持ちと事実が、かつてのおだやかな故郷の写真とともに淡々と綴られてゆく。頁をめくるほどに変化する感触は紙の本ならではだ。とにかく手にとってほしい。二年前までの著者ならきつと発表することのなかった写真、出すことのなかった本を、今あなたは見ている。(ゆ)

